

令和2年度事業報告

令和2年度は、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により、人々の暮らしや生活スタイルが一変し、今もなお感染拡大の終息が見えない状況にあります。また、緊急事態宣言も年度内だけでも2度にわたって発令され、日常生活や業務においても、これまで当たり前に行っていたことにも制限がかかり、ウイズコロナ時代の「新たな生活様式」への対応が本会においても求められています。

市民生活への影響も大きく、休業や勤務先の業績悪化により生活に困窮する世帯の増加に伴い、政府の施策に基づき、大阪府社会福祉協議会が実施する生活福祉資金の特例貸付（緊急小口資金や総合支援資金）や、同様に羽曳野市が実施する生活困窮者自立支援制度の住居確保給付金がセイフティーネットとなり、多くの申し込みがありました。当会では、直接に相談者と接する申請受付窓口として、相談者の意向を尊重しながら、羽曳野市や当会が行う周辺の支援事業にさらにつなげて行くなど、困窮する市民に寄り添い丁寧な支援を行いました。

厚生労働省では、地域に生きる一人ひとりが尊重され、その生きる力や可能性を最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現に向けた「包括的支援体制」の取り組みを推進しており、目標を同じくする、羽曳野市の第3期地域福祉計画及び当会が作成した第3期地域福祉活動計画は今年度が計画の最終年となるため、第2期計画から引き続いて、「ふれあいネット雅び」のしくみを活用して具体化、充実してきた「ささえあいネットはびきの」をさらに発展させるため、羽曳野市とともに、令和3年度からの5か年計画「第4期羽曳野市地域福祉計画」と「第4期羽曳野市地域福祉活動計画」とを一体的に策定しました。第3期活動計画の基本理念「一人ひとりの想いをつなぎ結びあう地域づくり」を承継し、小学校区をベースとした地域・行政・専門機関そして本会が情報を共有し、それぞれの役割を持ち積極的に協力しながら地域福祉ネットワークの充実をさらに進めて行こうとするものです。また、この度のコロナ禍の経験から、「離れていても心のつながりを維持していく」取組みも積極的に検討していくことが必要と考えます。

地域福祉活動では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、徹底した感染予防対策を行い実施する予定でしたが、残念ながら多くの行事が中止や延期となりました。そのような中、大阪府社会福祉協議会より、大阪府の「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金」の配分を受け、地域で見守りが必要な高齢者、障がい者等の要支援者に対し、「逢い愛♡見守り運動事業」として、校区福祉委員会及び民生委員・児童委員協議会等の協力を得て、普段から気にかけている独居高齢者世帯や障がい者世帯の方などを個別訪問や電話で安否確認を行いました。訪問時には、エコバック、本会の連絡先や地域の民生委員の連絡先を記入できるマグネットシート、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の相談窓口案内及びコロナ感染予防対策のチラシを袋に詰めて配布しました。「久々に民生委員さんのお顔を見られて嬉しかった。」などの感謝の声をいただき、体の距離は離れていても、心の距離は密であることの大切さを改めて感じていただくことが出来ました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談をはじめ、保育園で行っているスマイルサポーター事業により、相談者が抱える個別の課題解決に向けて支援しました。生活福祉資金のコロナウイルス特例貸付申請受付業務については、スタッフを増員し、また、羽曳野市各関係課の協力を得て、特設会場を確保するなど、出来る限りスピーディに手続きが進むことができました。

在宅福祉活動では、安心して利用していただけるように徹底した感染予防対策を行い、訪問介護事業、居宅介護支援事業など利用者に寄り添った介護事業を行いました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金、献血推進事業、災害時義援金活動に取り組み、コロナ禍の中にもかかわらず、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

「あおぞら保育園」・「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園でも、徹底した感染予防対策を行い、安心安全な保育園として、保護者とともに園児の健やかな成長を願い、保育サービスに努めました。また、地域の子育て支援の拠点として、育児相談、園庭開放、緊急一時保育（ベビーハウス社協のみ。）などを実施し、地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行い、財政運営にあたっては経費削減に努め健全化を図りました。

当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの皆様からのあたたかいご理解とご協力をいただき、今年度も昨年に引き続き安定的な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

事業ごとの取り組み内容は以下のとおりです。

令和 2 年度 事業 報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
新型コロナウイルス感染症拡大のため「理事会の決議の省略」で実施		1. 平成31年度事業報告について 2. 平成31年度収支決算について	—
令和3年3月2日	羽曳野市役所 別館3階会議室	1. 定款の一部改正(案)について 2. 経理規定の一部改正(案)について 3. 令和2年度第1次補正予算(案)について 4. 令和3年度事業計画及び予算(案)について 5. 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正(案)について 6. 評議員選任・解任委員の選出(案)について 7. 役員等賠償責任保険契約の内容(案)について	15人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
新型コロナウイルス感染症拡大のため「評議員会の決議の省略」で実施		1. 平成31年度事業報告について 2. 平成31年度収支決算について	—
新型コロナウイルス感染症拡大のため「評議員会の決議の省略」で実施		1. 定款の一部改正(案)について 2. 令和2年度第1次補正予算(案)について 3. 令和3年度事業計画及び予算(案)について	—

・監事監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和2年5月21日 5月27日	別館3階特別会議室	平成31年度監査	2人

■ 組織強化

自主財源となる福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金 (令和3年3月31日現在)

令和2年度 2,317,830円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

4,337,667円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

240,000円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年3回発行	9月・12月・3月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	———	随時更新	http://www.hasyakyo.net/
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・在宅部会 ・施設部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
令和2年11月25日	校区福祉委員会連絡会 「地域福祉活動における感染対策」	市役所別館2階研修室

令和3年3月12日

小地域ネットワーク活動リーダー研修会
【新型コロナウイルス感染拡大により中止】

市役所別館3階会議室

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋げました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、書面での総会を開催しましたが、予定していた取組みについては中止となりました。

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、各校区福祉委員会では感染予防対策を行い活動していましたが、やむなく行事が中止・延期となる校区が多くありました。

※ 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動

※ ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティネットの確立を目指す活動

・大阪府外出自粛高齢者・障害者等見守り支援事業（逢い愛 ♡ 見守り訪問事業）

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の協力により、見守り対象者を訪問しコロナ禍での状況を確認すると共に、必要な場合には、CSW や専門機関へのつなぎを行う個別訪問事業を実施しました。

訪問実施数：5780件

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図っています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校からの依頼も少なく予定していた取組みについても中止となりました。

・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動にいかされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

◎CSW介入の必要性

・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。

- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。
- ・なんらかの理由で家から外出することができなくなった「ひきこもり」と呼ばれる方々が、社会参加するための支援。

◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例（50代ひきこもりの子・80代高齢親）
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例 など

① 地域支援活動

	東 部	西 部	合 計
<u>第3期羽曳野市地域福祉計画の推進、第4期地域福祉活動計画の策定</u> 第3期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市CSW連絡会、中河内・南河内CSWブロック会議、エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワーク羽曳野市CSW・スマイルサポーター連絡会・ひきこもり支援連絡会・校長会・街歩きイベント等	64回	37回	101回
<u>住民懇談会の開催</u> 校区懇談会・子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議・小地域ネットワーク会議	4回	3回	7回
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援	0回	1回	1回
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	0回	0回	0回
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	3回	2回	5回
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 コミュニティひろば、西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」、喫茶サロン「いしかわ」、等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付・民生定例会	17回	5回	22回

② 個別支援活動

(単位：件)

相談内容別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	50	110	160
生活に関する身近な相談	54	178	232
健康・医療に関する相談	64	72	136
生活費に関する相談	21	57	78
就労に関する相談	4	24	28
多重債務に関する相談	0	13	13
財産管理・権利擁護に関する相談	2	9	11
子育て世帯に関する相談	1	26	27
DV・虐待に関する相談	0	2	2
災害時要援護者に関する相談	15	4	19
その他	30	97	127
合 計	241	592	833

(単位：件)

相談対象者別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
高齢者	72	68	140
障がい者	7	91	98
子育て中の親子	4	19	23
一人親家庭の親子	3	12	15
青少年	1	2	3
生活困窮者	12	69	81
社会的孤立（ひきこもり）	11	21	32
その他（一般）	34	16	50
合 計	144	298	442

※一度に複数の相談事項があるため、合計とは一致しません。

・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

内 容	件数
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）	1,011
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）	821
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)	93
病気や健康、障害のこと	45
住まいについて	147
収入・生活費のこと	793
家賃やローンの支払いのこと	247
税金や公共料金の支払いについて	23
債務について	29
仕事探し、就職について	51
仕事上の不安やトラブル	7
地域との関係について	1
家族関係・人間関係	17
子育てのこと	13
介護のこと	7
ひきこもり・不登校	11
DV・虐待	4
食べるものがない	6
その他	50

※一度に複数の相談事項があるため、受付件数等とは一致しません。

令和2年度 住居確保給付金申請内訳 (速報)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
離職	5	6	2	4	2	1	1	1	0	2	6	5	35
減収	7	26	11	3	2	3	2	0	0	1	0	4	59
合計	12	32	13	7	4	4	3	1	0	3	6	9	94

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会権利擁護推進室からの委託事業で、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより毎日の暮らしに必要なことの判断や意思表示を自分自身で適切に行うのが困難な方を対象に、生活支援や金銭管理などをお手伝いする事業です。令和2年度は新型コロナウイルス感染予防対策として、一時的に対面でのやり取りを避け、現金書留による受け渡しを行うなどの対応を実施しました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための活動件数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	82件	247回	4件	5件	11人
知的障がい者	89件	628回	1件	1件	16人
精神障がい者	324件	1357回	7件	2件	27人
その他	0件	0回	0件	0件	0人
合計	495件	2232回	12件	8件	54人

専門員・支援員参加の研修会等

大阪後見支援センター主催の各種会議・研修会に参加

・会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回給食ボランティアの会食サービス「あじわい」と民生児童委員の協力により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、やむなく事業が中止となりました。

・生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活の安定ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	35件	68件	19件	3,381千円
教育支援資金	67件	95件	26件	17,371千円
総合支援資金	3件	0件	0件	0千円
不動産担保型生活資金（要保護含む）	28件	19件	1件	5,404千円
緊急小口資金	10件	22件	2件	169千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円

〈新型コロナウイルス感染症特例貸付〉

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入の減少・失業した方がおられる世帯を対象に、令和2年3月25日より受付開始。臨時職員増員、特設会場の設置により、相談支援体制の整備を図った。

区 分	相談	申込
緊急小口資金	1,699	1,237
総合支援資金	1,226	1,051
総合支援資金（延長）	788	633
総合支援資金（再貸付）	872	531

・避難行動要支援者支援ネットワーク構築事業（旧：災害時要援護者支援ネットワーク構築事業）

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、校区福祉委員会や町会・民生委員児童委員など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようという制度です。登録者数が増えることで、平常時からの地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

避難行動要支援者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（令和3年3月末現在）

古 市	高鷲北	埴 生	埴生南	羽曳が丘	丹 比	駒ヶ谷	古市南
411人	197人	395人	449人	448人	436人	103人	414人

西 浦	西浦東	恵我之荘	白 鳥	高 鷲	高鷲南	合 計
241人	141人	228人	148人	366人	401人	4,378人

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が全校区で行われています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、やむなく事業が中止となりました。

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 274日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	155件	85件	3件	0件	243件
人数	989件	4,885人	15人	0人	5,889人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
76件	151件	8件	20件	25件	280件

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年実施されている事業が中止となりました。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア体験プログラム	中止	大阪府社会福祉協議会の主催で毎年開催されているプログラムで、子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会とボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする場の提供を目的として校区福祉委員会や施設などに受入れを依頼し、共催している。
傾聴ボランティア養成講座	中止	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催している。初心者必須の講座。
精神保健福祉ボランティア養成講座	中止	こころの病を持つ方が増加傾向にある現代、その方々が安心して暮らせる地域を一緒に作るために、精神障がいについて正しい知識を得ることで偏見や差別をなくすことを目的に開催している。

朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	中止	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、例年幹事市へ出向いて録音技術や朗読スキルアップ、会員募集、リスナーさんの拡大などテーマを決めて、現状報告・情報交換などの意見交換を行う。
小学生ボランティアスクール	中止	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てるボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催している。
市民活動わくわく講座12月 バルーンアートボランティア 養成講座	中止	バルーンアートは特に子供が集うイベントなどでは大変人気であり、ボランティア活動としての需要も充分見込める内容であるため、子供と関わるボランティア活動の発掘をねらい企画した。
市民活動わくわく講座令和3 年2月 折り紙ボランティア養成講座	中止	手先が器用で、人と関わるのが好きな市民の方はおそらく多数いると思われるため、自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的とする。また、折り紙は男性でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい企画した。
市民活動わくわく講座 災害ボランティア養成講座	中止	南海トラフ地震や、近年多発している台風などによる水災害に備えて、ボランティア経験者をお招きし災害ボランティアの技術を学ぶ機会を設けるとともに、羽曳野市で災害が起きた際に現地で活躍してもらえる人材の確保を目的に企画した。
市民活動わくわく講座 傾聴ボランティア養成講座	中止	傾聴の知識は他のボランティア活動をおこなう場合でも必要なスキルであるため、ボランティア活動入門の場として企画した。市内でボランティア活動に興味がある方にとって気軽に始めやすい分野であることから、ボランティア入門として広い視野をもってニーズキャッチをはかることを目的とする。

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、やむなく中止となる事業がありました。

ボランティア連絡会総会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面審議
定例幹事会	毎月第2水曜日

<p>その他主な活動</p> <p>大阪府市町村社協ボランティア連絡会総会 大阪府市町村社協担当者オンライン会議 大阪府市町村社協担当者会議 大阪府市町村ボランティア連絡会オンライン研修会 河南ブロック交流会 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議 市民体育祭 エコイベント 小学生ボランティアスクール 会員研修 市民マラソン大会 市民活動フェスタ2021 障がい者団体行事・高齢者施設行事 保健センター各種教室</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議 令和2年 6月19日/ボランティアセンター 令和2年10月19日/大阪府社会福祉会館 令和2年11月11日/ボランティアセンター 羽曳野市ボランティア連絡会の活動冊子を作成 令和3年 2月25日/大阪府社会福祉会館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>
--	--

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座や情報交換会を企画し、災害ボランティアへの参画を促しています。

昨年度に引き続き、災害ボランティアセンター設置時に使用する備品を整備しました。

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」とともに、災害ボランティアセンター設置時に協力できる体制作りに向けて連携し、講座を企画しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、やむなく事業が中止となりました。

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」勉強会	中止	災害ボランティアセンターが設置される際に社協とともに運営に携わるための知識や技術を得るために設立された「ブランバード」とともに、ボランティアセンターを実際に設置することでレイアウトや動線などを具体的に並べる体験を経て気づきを得ることを目的とした勉強会を企画した。
3市合同災害ボランティア担当者会議・連絡会議	令和2年 6月5日・ 7月2日・ 8月7日・ 9月10日	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の3社協共同で災害ボランティアセンターについての情報交換を行い、災害ボランティアセンターの運営体験プログラムの企画について話し合った。

■ 実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪府立大学	6人	令和2年7月14日	オンライン実習

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	令和2年9月1日～10月5日	23日間
四天王寺大学	2人	令和2年11月16日～11月27日	9日間

■ きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

きらきらシニアプロジェクトはじめて講座	令和2年7月20日・11月17日
---------------------	------------------

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 296人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護保険支援サポーター活動を対象としている。

サポーター受入施設 66施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録しています。

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保健施設との連絡調整等を行いました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防に努めサービスを提供しました。

※サービス提供に伴う感染拡大を予防するため「大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金」を活用し、衛生物品を整備しました。

・新規相談件数・・・60件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	30人	24人	17人	7人	5人	83人
内2年度新規	15人	8人	9人	4人	0人	36人

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
利用者数	11人	22人	0人	33人
内2年度新規	1人	9人	0人	10人

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 90件 (生活保護法介護扶助) 16件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防に努めサービスを提供しました。

※サービス提供に伴う感染拡大を予防するため「大阪府新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金」を活用し、衛生物品を整備しました。

ホームヘルプサービス利用状況（年度末現在利用者数）

（単位：人）

利用者数		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい	総合計
介護保険	総合事業	1	29	20							50
	訪問介護				13	15	3	5	4		40
障がい	居宅介護									22	22
	重度訪問介護									1	1
合計		1	29	20	13	15	3	5	4	23	113

・福祉有償運送事業（移送サービス事業）

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためボランティア及び利用者の安全面を考慮し活動を休止。

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	23件	16件	13件	18件	22件	26件	34件	11件	12件	28件	22件	24件	249件

【斡旋】

紙オムツ・失禁パンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

■ 介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助をおこなっておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、役員会・事業を中止せざるをえませんでした。

（その他）河南ブロック介護者（家族）の会交流会

3月23日（火）社会福祉協議会あいあいハウスにてリモート参加 役員2名参加

■ 各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【社資募集実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	614,800円	西浦地区	1,094,711円
高鷲地区	1,084,190円	丹比地区	198,750円
埴生地区	448,070円	日赤奉仕団扱い	0円
羽曳が丘地区	677,710円	事務局扱い	4,002円
駒ヶ谷地区	332,000円	大阪支部扱い	1,049,511円
合計			5,503,744円

【事業】・羽曳野市赤十字奉仕団研修 令和2年4月24日（市役所別館 3階会議室）
 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉の
 ところ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】： 令和2年10月1日 駅・スーパー 17か所 延べ参加人数 106人

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法人	学校	街頭	バッジ	実績額
2,506,300円	78,459円	178,693円	156,720円	530,000円	3,450,172円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	496,600円	丹比地区	164,150円
高鷲地区	662,750円	西浦地区	342,900円
埴生地区	347,250円	駒ヶ谷地区	136,700円
羽曳が丘地区	348,300円	事務局扱い	7,650円
合計			2,506,300円

※地区募金会理事会 令和2年8月27日（市長会議室）

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	463,450円	丹比地区	185,500円
高鷲地区	605,016円	西浦地区	254,450円
埴生地区	403,150円	駒ヶ谷地区	123,300円
羽曳が丘地区	307,750円	事務局扱い	278,080円
合計			2,620,696円

(民生委員校区别実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	511,300円	高鷲南校区	85,000円
古市南校区	102,500円	高鷲校区	217,510円
白鳥校区	268,000円	駒ヶ谷校区	86,000円
埴生南校区	72,042円	高鷲北校区	222,500円
埴生校区	99,000円	丹比校区	317,000円
西浦校区	189,500円	恵我之荘校区	275,500円

西浦東校区	117,000円	主任児童委員	53,000円
羽曳が丘校区	14,000円		
合 計			2,629,852円

※ 配分委員会 令和2年12月1日（市役所別館 3階会議室）

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止

配分内容

民生児童委員協議会福祉活動費、校区福祉員会推進費、子育てサロン運営費、子ども食堂運営費
児童養護施設お年玉、 他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議

令和2年4月24日（市役所別館 3階会議室） 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止

・啓発活動

市広報紙・社協だよりに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、市内及等において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
836人	693人	31人	662人

・義援金受付及び被災地支援活動

・義援金の受付

東日本大震災	令和3年3月末現在	45,157,328円
熊本地震	令和3年3月末現在	4,023,994円
平成29年7月5日からの大雨災害	令和3年3月末現在	100,000円
平成30年7月豪雨災害	令和3年3月末現在	930,203円
北海道胆振東部地震	令和3年3月末現在	281,649円
令和元年台風第15号	令和3年3月末現在	1,000円
令和元年台風第19号	令和3年3月末現在	579,877円
令和2年7月豪雨災害	令和3年3月末現在	296,777円
(社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金)		

■ 職員研修会

・人権研修

全職員対象にDVD などによる人権研修会を開催

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	142	142	143	144	146	148	149	149	149	148	151	151	1,762

※認可定員: 120人

保育内容

入園式・進級式・検便(年1回)・検尿検査(年2回)・嘱託医による健康診断(年2回) 歯科検診(年1回)
園外保育(年8回)・個人懇談・七夕まつり・夕べの会・運動会・クリーン活動・芋掘り・味覚狩り
作品展・消防訓練・交通安全講習会・餅つき大会・節分・生活発表会・お別れバス遠足・お別れ会
修了式・卒園式・食育ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会(毎月1回)

延長保育

【朝の延長: 7時~7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	4	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	9

【夕方の延長: 18時半~19時】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	16	2	30	24	14	24	25	25	20	14	15	15	228

特別教室の実施

- ・英会話教室(ECC)
 - ・ダンス教室・体育教室
- ※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談(開園中常時)
- ・園庭開放(年11回)
- ・子育て支援自主事業
(年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う)

地域交流

- ・防災訓練(地域の親子参加) 9月
- ・おもちゃつき会(地域の親子参加) 12月

- ・新年子どもの会（地域の親子参加） 1月
- ・交通安全講習会（地域の親子参加） 2月
- ・園児の祖父農園（芋掘り） 10月
- ・中川さんの農園（芋掘り） 9月
- ・教育実習生受け入れ 8月2人 10月2人 2月5人 計9人
- ・高校生5日間の夢体験 7月1人 8月2人

職員研修

保育士研修

- ・キャリアアップ(子育て支援研修) 1人(8/27.9/15.10/15.11/2.12/22)
- ・キャリアアップ(マネジメント研修) 1人(9/5.11/12.12/15)
- ・キャリアアップ(障がい児研修) 1人(8/25.9/12.10/21.11/18)
- ・キャリアアップ(乳児教育研修) 1人(9/7.10/30.12/7)
- ・キャリアアップ(乳児教育研修) 1人(オンライン講習)
- ・キャリアアップ(子育て支援研修) 1人(2/24)
- ・乳児保育 2人(10/20)
- ・幼児教育 1人(10/27.11/20)
- ・乳児セミナー 2人(10/29)
- ・表現講習 1人(11/6)
- ・表現講習 2人(11/18)
- ・実技講習 2人(11/9)
- ・遊び講習 2人(11/25)
- ・地域福祉専門職ネットワーク研修会 2人(10/30.11/20)
- ・感染症、食中毒予防 1人(11/19)
- ・人権研修(DVD) 35人(3/23)
- ・心肺蘇生 24人(9/8)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	125	125	127	128	129	130	132	132	130	130	132	131	1,551

※認可定員：120人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年1回)、オンライン参観(年1回)、

ECC(3歳児一年15回(10月～)、4・5歳児一年30回)、ダンス(3・4・5歳児一年30回)、七夕、
スペシャルサマーデー(5歳児)

検便・尿検査(年1回)・内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、運動会(2～5歳児)、秋の遠足(5歳児)、
カレー作り(5歳児)、クリスマス会、節分、ひなまつり、ゆめっこの会、卒園式
避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	114	84	100	114	100	113	117	102	112	86	76	100	1218

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	51	23	46	49	43	35	36	38	34	20	22	44	441

緊急一時保育

7時～20時

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	82	50	66	65	100	183	203	192	193	153	177	230	1,694
他市町村の園児数	0	0	0	7	6	1	0	1	0	5	2	6	28

家庭支援推進保育所事業 (育児相談・家庭訪問)

配慮を要する入所児童への家庭訪問、育児相談・・・28件

在宅子育て家庭への家庭訪問、育児相談・・・72件

子育て支援事業

- ・園庭開放 (ベビっこひろば) (年4回)

地域交流

- ・教育実習生の受け入れ 計8人

大阪芸術短期大学部 保育科 1名 2年 7/20～8/1

関西女子短期大学 保育科 1名 2年 7/30～8/11

関西女子短期大学部 保育科 1名 2年 7/30～8/6・9/1～3

関西女子短期大学部 保育科 2名 1年 1/27～2/6

四天王寺大学教育学部 教育学科 2名 2年 2/1～2/15

大阪芸術短期大学部 保育科 1名 1年 2/15～3/1

- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 20名 (11/24)

職員研修

保育士研修

- ・危機管理危機対応研修 2名(4/6)・1名(4/7)・1名(7/8)・2名(10/23)・1名(11/9)
- ・救急蘇生DVDによる研修(全職員)(6/15~6/17・19)
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1名(9/2)
- ・キャリアパス対応生涯研修過程(管理職コース) 1名(8/5・21)
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人(9/2)
- ・新任講座 1名(9/11・11/13)
- ・乳児保育講座 1名(9/24・10/20)
- ・一人ひとりを大事にする幼児クラスづくりコース 1名(9/4・10/23・11/20)
- ・キャリアパス対応生涯研修過程(チームリーダー編) 1名(11/6・20・27)
- ・児童虐待防止の取り組み推進研修会(WEB) 1名(12/9)
- ・保育所・認定こども園リーダートップセミナー(WEB) 1名(2/6)
- ・全国保育士研修会(WEB) 1名(2/27)
- ・保育士等キャリアアップ研修(乳児保育)(eランニング・ZOOM) 1名(3/1~3/21)
- ・保育士等キャリアアップ研修(障害児保育)(eランニング・ZOOM) 1名(3/1~3/21)
- ・人権研修DVD研修 35名(3/29)